

## 1944

(昭和19年)

12. 7 東海地方大地震  
 (この年) レイテ沖海戦 (10月25日) で「神風特攻隊」が初攻撃。「疎開」「松根油 (ガソリン代替)」「国民酒場」など戦時新語が出る

## 1945

(昭和20年)

- 3. 1 外資金庫開業
- 3. 20 上田要、取締役会長に就任。柴沼静雄社長に、田澤哲三郎副社長に就任
- 4. 1 共同融資銀行開業
- 5. 15 資金統合銀行開業 (8月21日、共同融資銀行を吸収)
- 5. 15 都市貯蓄銀行9行が合併して日本貯蓄銀行を新立
- 6. 20 手形交換業務を日銀に吸収 (東京以外は7月1日)
- 8. 28 大蔵省、戦後通貨対策委員会設置を決定
- 9. 28 全国銀行協会連合会設立
- 9. 30 GHQ、外地銀行・外国銀行・特別戦時機関の閉鎖を指令
- 9. 30 全国金融統制会解散
- 10. 1 短資業協会設立
- 11. 1 日銀、公定歩合の形式改正 (軍需手形の優遇廃止等)
- 12. 27 東京銀行協会、土曜日半休制を決定
- 2. 4 米・英・ソ首脳ヤルタ会談
- 3. 10 東京大空襲 (死者8万人、全焼26万戸、被災者100万人)
- 4. 1 米軍、沖縄本島に上陸
- 4. 7 鈴木貫太郎内閣成立 (広瀬豊作、大蔵大臣に就任)
- 5. 7 独、無条件降伏
- 7. 17 米・英・ソ首脳、ポツダム会談
- 8. 6 広島に原子爆弾投下
- 8. 8 ソ連、対日宣戦布告
- 8. 9 長崎に原子爆弾投下
- 8. 14 御前会議、ポツダム宣言受諾を決定
- 8. 15 戦争終結の詔書を放送
- 8. 17 東久邇宮稔彦内閣成立 (津島寿一、大蔵大臣に就任)
- 8. 18 満州国、皇帝溥儀が退位し国家消滅
- 8. 30 連合国最高司令官マッカーサー、厚木に到着
- 9. 2 降伏文書に調印 (米戦艦ミズリー号上)
- 9. 11 GHQ、東条英機ら39人の戦犯容疑者の逮捕を命令 (東条、自殺未遂)

## 1945

(昭和20年)

- 9.27 天皇、マッカーサーを訪問
- 10. 9 幣原喜重郎内閣成立(渋沢敬三、大蔵大臣に就任)
- 10. 9 第17代日銀総裁に新木栄吉就任
- 10.24 国際連合発足
- 11. 6 GHQ、財閥解体を指令
- 12.27 プレトンウッズ協定発効
- <この年> 戦後初の企画映画「そよ風」の主題歌「りんごの歌」大流行。「1億総懺悔」「たけのこ生活」が流行語に

## 1946

(昭和21年)

- 1. 4 銀行協会、手形交換業務を日銀から引継ぐ
- 1.18 日銀、高率適用制度を復活
- 2.17 金融緊急措置令、日本銀行券預入令公布施行(25日、預金封鎖・新旧円交換)
- 2.17 金融緊急措置令実施に伴い、大蔵省告示第29号をもって同令施行規則第15条に規定するビルブローカーとしての指定を受ける
- 4. 2 金融団体協議会結成
- 4. 9 日銀、公定歩合(貸付・当貸利子歩合)引上げ(商業手形割引歩合9厘据置)
- 8.15 金融機関経理応急措置法公布施行
- 8.30 日銀、スタンプ手形・貿易手形両制度実施
- 1. 1 天皇が人間宣言
- 1. 4 GHQ、軍国主義指導者の公職追放と超国家主義団体の解散を指令(2月28日公職追放令施行)
- 2. 1 第1次農地改革実施
- 2.15 米ペンシルバニア大で電子計算機第1号機完成
- 3. 1 労働組合法施行
- 4.10 新選挙法による総選挙実施(女性39人当選)
- 4.20 持株会社整理委員会令施行(8月27日発足、1951年7月11日廃止)
- 4.30 経済同友会設立
- 5. 1 メーデー11年ぶりに復活
- 5. 3 極東国際軍事裁判開始
- 5.22 第1次吉田茂内閣成立(石橋湛山、大蔵大臣に就任)

1946  
(昭和21年)

- |  |  |
|--|--|
| <p>10. 1 <u>コール協定金利翌日物最低 8 厘となる (本協定金利は 1933年 7月 以来 7 厘に据置かれていたもの)</u></p> <p>10. 14 日銀、公定歩合 1 厘引上げ (商業手形割引歩合 1 銭)</p> <p>10. 19 金融機関再整備法公布 (30日施行)</p> <p>11. 4 通貨安定対策本部、地方通貨安定推進委員会設置</p> <p>● 11. 4 <u>当社上田要会長、大阪地方通貨安定推進委員に選任され、幹事に就任。一万田日銀総裁提唱の「救国貯蓄運動」の一翼を担う</u></p> | <p>6. 1 第18代日銀総裁に一万田尚登就任</p> <p>6. 25 国際復興開発銀行開業</p> <p>8. 16 経済団体連合会設立</p> <p>11. 1 第1回国民体育大会開催</p> <p>11. 3 日本国憲法公布</p> <p>11. 20 日本商工会議所設立</p> <p>11. 20 財産税法施行</p> <p>12. 27 政府、石炭の集中生産をはじめとする傾斜生産方式を決定</p> <p>〈この年〉 天皇の全国巡幸、「のど自慢」「カムカム英会話」「尋ね人」放送始まる。「カストリ」「バクダン」の流行語も</p> |
|--|--|

1947  
(昭和22年)

- |   |  |
|---|--|
| <p>1. 4 東京銀行開業 (横浜正金銀行の新勘定を継承)</p> <p>1. 25 復興金融金庫開業</p> <p>3. 1 金融機関資金融通準則公布施行</p> <p>3. 31 財政法公布 (4月1日施行)</p> <p>● 4. 1 <u>日銀、証券業者・短資業者にも高率適用制度を適用</u></p> <p>4. 16 日本証券取引所解散</p> <p>7. 1 公正取引委員会発足</p> <p>7. 1 日銀、貿易スタンプ手形制度創設 (8日貿易手形制度と改称)</p> <p>● 7. 15 <u>当社上田要会長、日銀の委嘱により大阪府産業再建推進本部金融班員に推薦される</u></p> <p>10. 23 東京銀行協会、金利協定廃止</p> | <p>1. 31 マッカーサー、2.1ゼネストに対し中止を命令</p> <p>3. 1 国際通貨基金業務開始</p> <p>3. 15 東京都35区制を22区に整理統合 (8月、23区制に)</p> <p>3. 31 貴族院停会、帝国議会終幕</p> <p>4. 1 教育基本法・学校教育法施行 (6・3・3・4の新学制)</p> <p>4. 8 公共職業安定所設置</p> <p>4. 20 第1回参議院議員選挙</p> <p>5. 3 新憲法施行</p> <p>5. 3 地方自治法施行</p> <p>5. 19 経営者団体連合会設立</p> <p>5. 24 片山哲内閣成立 (石橋湛山、大蔵大臣留任。同年6月1日矢野庄太郎、同年6月25日栗栖乂夫、大蔵大臣に就任)</p> |
|---|--|

1947  
(昭和22年)

- 10.27 短資業協会臨時総会において  
コール金利協定を廃止
- 12.13 臨時金利調整法公布（12月  
15日施行）
- 7. 4 政府、第1次経済実相報告書  
〈財政も企業も家計も赤字〉  
を発表（初の経済白書）
- 7.20 独占禁止法全面施行
- 8. 4 最高裁判所発足
- 9. 1 労働基準法施行
- 9.15 カスリン台風、関東・東北を  
襲う
- 〈この年〉「学校給食」「赤い羽根募金」  
「街頭録音（NHK）」始まる。  
流行語「アプレゲール」

1948  
(昭和23年)

- 1. 6 臨時金利調整法に基づき、コ  
ールローン（翌日物）の利率  
最高9厘、ブローカレッジ最  
高1厘と決定される。日銀指  
導実行金利8厘
- 1.27 上田要、芦屋市公安委員長に  
就任
- 3.17 当社上田要会長、関西経済連  
合会常任理事に就任
- 3.31 金融機関再建整備の最終処理  
完了
- 4.13 証券取引法公布（5月7日施  
行、証券会社のコール取引兼  
業禁止）
- 4.26 日銀、公定歩合2厘引上げ  
（商業手形割引歩合1銭2厘）
- 4.30 日銀、農業手形制度創設
- 6.20 創業満30年
- 7. 1 臨時金利調整法に基づくコ  
ールレート（翌日物）最高1銭、  
日銀指導実行金利9厘
- 1. 1 改正民法施行（家長中心制度  
崩れる）
- 1.26 帝銀事件起こる
- 1.30 第5回冬季オリンピック・サ  
ンモリッツ大会開幕
- 3.10 芦田均内閣成立（北村徳太郎、  
大蔵大臣に就任）
- 4.28 夏時刻法公布（5月第1土曜  
～9月第2土曜、時刻を1時  
間進めるサマー・タイム、  
1952年廃止）
- 6.28 福井大地震発生
- 7. 1 国家公務員法施行
- 7.20 国民の祝日に関する法律施行
- 7.29 第14回オリンピック・ロン  
ドン大会開幕（日本不招待）
- 8.15 大韓民国独立宣布
- 9. 1 取引高税法施行（1950年1  
月1日廃止）
- 9. 9 朝鮮民主主義人民共和国成立  
宣言